

## 【小学校第5学年の実践】

## 1 主題名

粘り強く努力し続けることの大切さ【A 希望と勇気、努力と強い意志】

## 2 教材

苦難を乗り越え作品を書き続けた作家 三浦 綾子(北海道版道徳教材(小学校高学年用))

## 3 主題設定の理由【指導観】

## (1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

希望と勇気、努力と強い意志は、自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させることに関する内容項目である。児童が、一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。

こうしたことは、ただ漫然と努力するのではなく、自分に適した目標を設定し、見通しをもってよりよい自己を実現しようとする向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚できるようになるものである。

そのためには、困難や失敗を乗り越えるために必要な勇気や、自分の目標に向かって努力することの意味について考えさせる指導が大切である。

第5学年の指導に当たっては、児童がそれぞれに高い理想を追い求める時期である。先人や著名人の生き方に触れる機会が多くなり、その生き方に憧れたり、自分の夢や希望を膨らませたりする。一方、自分に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実の違いを意識することから、自分の目標を設定し、その達成を目指して勇気と希望をもち、困難があってもくじけずに努力しようとする心情を育てていきたい。

## (2) 児童の実態【児童観】

自分の目標をもって、くじけずに努力し、自分を向上させようとする心情を育てるために、道徳科以外では、次のような指導を行っている。

## ① 体育科「体力向上を図る取組」

困難を克服し、自己の目標に向かって継続的に努力を積み重ねる心情を育てるために、体育の各単元で、自分の目標を決めてから取り組むことを重視している。「長距離走」においては、自分の走った距離を「マラソンカード」に記録し、自分や友達同士で確認し、励まし合いながら進めている。「マラソンカード」が励みとなって努力する児童も多く、進捗状況や達成状況等を確認しながら、目標に向かって一歩ずつ前に進んでいく感覚を味わうことができるようにしている。今後は、各学年の「マラソンカード」を掲示したり、学年間で達成状況を交流したりするなどして、目指す姿を共有することにより、より一層自分自身を高めていこうとする心情を育てたい。

## ② 日常指導「マイノート」

「マイノート」(キャリアノート)を活用した取組では、個々の児童の実態に応じた目標を設定させるために、その到達に向けた短期的な目標を立てさせている。また、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く心情を育てるために、運動会や学習発表会等の行事においては達成後の具体的な姿を目標として立てさせている。さらに、実践意欲や態度を育成するために、各行事や学期末において、自己評価や他者評価等の振り返りを行う。

### (3) 教材について【教材観】

自分の目標を設定し、その達成を目指して勇気と希望をもち、困難があってもくじけずに努力しようとする大切さやよさについて、多面的・多角的に考えさせるために、粘り強く取り組むことができなくなるような困難な場面に直面したときの三浦綾子の生き方を考えさせる。その際、自分を投影させて考えたことを話し合わせ、価値理解・人間理解・他者理解を深めさせる。

そのために、発問の一つ目では、目標を失ったときの気持ちを考え人間理解を深めさせる。また、発問の二つ目では、自分から進んで、高い目標に挑戦しようと思ったときの気持ちや努力しているときに、弱気な気持ちに負けずに乗り越えようとした姿について話し合い、多面的に考え、価値理解・他者理解を深めさせる。

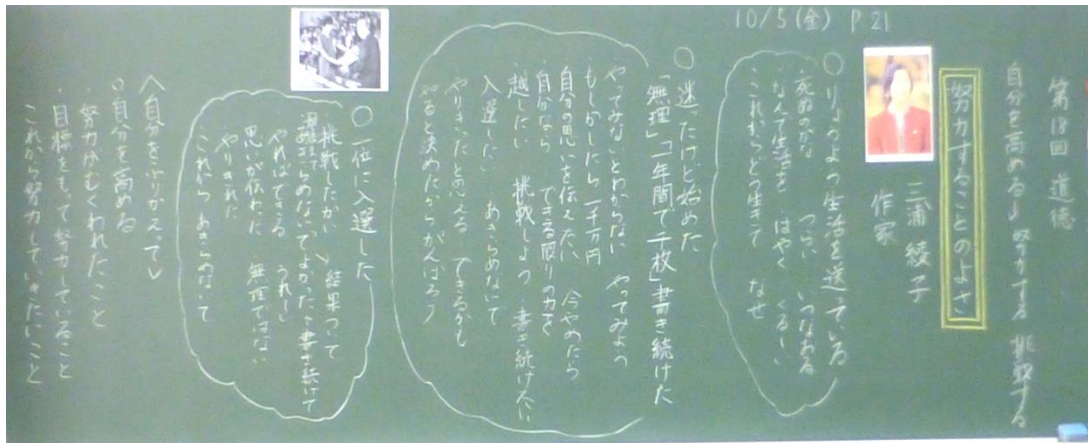
#### 4 ねらい

三浦綾子の生き方に触れることを通して、自分から進んで高い目標に挑戦しようと思ったときの気持ちや、努力するよさについて考えさせることを通して、困難があってもくじけずに努力しようとする心情を育てる。

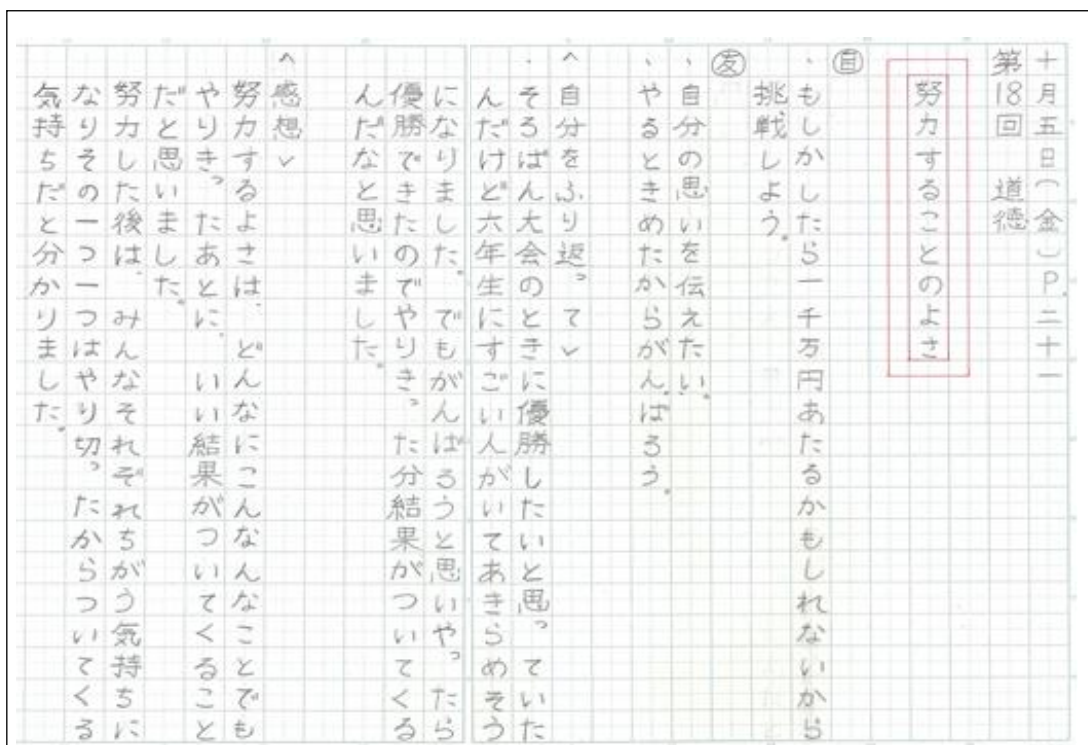
#### 5 学習指導過程

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習活動</li> <li>○ 主な発問 ◎ 中心的な発問             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの反応</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導上の留意点</li> <li>■ 評価</li> </ul>	<p><b>「考え、議論する道徳」に向けた工夫</b></p>
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「自分を高める（努力する）」ことについて、どのように考えているか発表する。</li> <li>○ 努力とは、どのようなことか。自分は努力できているだろうか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頑張ることややり遂げること。</li> <li>・ 自分は努力できている方だと思う。</li> <li>・ 時には、あきらめてしまうこともある。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入で、本時の主題について考える発問を行うことにより、ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。</li> </ul>	<p><b>【工夫①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主題に対して、自分との関わりで疑問がもてるよう、努力について、児童が分かったつもりで理解していることを改めて問うことで、曖昧なまま自覚していることに気付かせ、問題意識を高める。</li> </ul>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材「苦難を乗り越え作品を書き続けた作家」を読み、話し合う。</li> <li>○ 取り組んでいたことができなくなるような病気療養中、綾子は、どのような気持ちだったのでしょうか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もうやめたい。</li> <li>・ 自分はどうなるのか。</li> <li>・ どうしたらいいのか分からない。</li> </ul> </li> <li>○ 創作活動を行っているときに、君にはできないと指摘されたり、弱気になったりしたとき、綾子は、どのような気持ちだったのでしょうか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい目標ができたから頑張ろう。</li> <li>・ 自分の好きなことだから頑張りたい。</li> <li>・ 支えてくれる人のために頑張ろう。</li> <li>・ 乗り越えることで自分を高めたい。</li> </ul> </li> <li>◎ 目標をもって努力し、一位に入選した綾子は、どのような気持ちだったのでしょうか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 努力が報われた。</li> <li>・ 自分の思いを貫くことが大切だ。</li> <li>・ 「無理だ」という記事に負けないでよかった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標を失ったときの気持ちを考えられるよう、促す。(人間理解)</li> <li>・ 自分から進んで、高い目標に挑戦しようと思ったときの気持ちや努力しているときに、弱気な気持ちに負けずに乗り越えようとしたときの気持ちを考えさせる。</li> <li>■ 困難があってもくじけずに努力することの大切さについて、自分との関わりで考えを深めることができたか。</li> <li>・ 努力することのよさに気付いたときの気持ちを考えさせる。(価値理解)</li> </ul>	<p><b>【工夫②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多面的・多角的に考えさせるために、予想される児童の反応を考えられる内容項目ごと分類する。</li> </ul> <p>&lt;内容項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 個性の伸長</li> <li>A 希望と勇気、努力と強い意志</li> <li>B 感謝</li> <li>D よりよく生きる喜び</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流活動を通して、自分の考えを比較検討し、友達の考えのよさをノートに記録させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己を見つめる。</li> <li>○ 綾子のように努力が報われたことがありますか。または、自分を高めるために、目標をもって努力していることはありますか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字のテストに連続で合格するために、家庭学習をこつこつ続けている。</li> <li>・ 習い事の水泳で、今の自分より速く泳ぐために努力し続けて大会で1位になれた。</li> <li>・ ピアノの先生のように演奏できるようになるため、毎日欠かさず1時間練習している。</li> </ul> </li> </ul>		<p><b>【工夫③】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分との関わりで考えさせるために、教材から離れて、自分の行動を基に振り返るようにする。</li> </ul>
終 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師による説話を聞く。</li> <li>● 学習を通して、自分の考えの変化や深まったことについて書く。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の「努力するよさとは…」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの納得解をもたせられるよう、導入時の自分の考えと比較させる。</li> </ul>	<p><b>【工夫④】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習を通して、深まった自分の考えを、納得解として、個人でまとめさせる。</li> </ul>

6 板書



7 ノート・ワークシート



【授業実践を振り返って】

自分から進んで、高い目標に挑戦しようと思った時の気持ちや努力しているときに、弱気な気持ちに負けずに乗り越えようとしたときの気持ちを、多面的・多角的に考えることができるよう、「創作活動を行っているときに、君にはできないと指摘されたり、弱気になったりしたとき、綾子は、どのような気持ちだったのでしょうか。」と問いかけました。

児童からは、

- ・あきらめないで最後まで続けよう。(A 希望と勇気, 努力と強い意志)
- ・自分の好きなことだから頑張りたい。(A 個性の伸長)
- ・支えてくれる人のために頑張ろう。(B 感謝)
- ・これを乗り越えることで自分を高めたい。(D よりよく生きる喜び)

などの発言が見られ、「個性の伸長」「感謝」「よりよく生きる喜び」等の道徳的価値と関連させながら、自分との関わりで多面的・多角的に考え、「努力」について考えを深めることができました。